

# 京葉線巡り県が協議体

H30/2/22  
経新聞  
日新

## 本数増や駅改修 JR東などと

千葉県は21日、JR京葉線の利便性や安全性の向上を目指し、JR東日本や沿線自治体をメンバーとする協議体を設けたことを明らかにした。千

葉市幕張地区の人口増加や2020年東京五輪・パラリンピック開催を見据えて、運行本数の増加や駅の改修について話し合う。

同日の県議会本会議で高橋渡副知事が中田学氏（民進・立憲）への答弁で説明した。5日に初会合を開いた。京葉線全体の将来像について話し合

う場を設けるのは「初めての取り組み」（県交通計画課）という。

具体的な協議テーマやスケジュールは今後詰めるが、当面は駅のホームドア設置や運行ダイヤの見直しについて意見交換を重ねる見通し。千葉市などが希望する海浜幕張駅の改札口増設も「JR

側が計画を示せば、この場で議論したい」（同）考えだ。京葉線は沿線人口が増えているほか、五輪開催時は東京から幕張メッセ（千葉市）へ観客を輸送する大動脈となる。今後は一段の混雑悪化が予想され、官民が連携して対策を講じる。